



Title	メタフュシカ 第37号 編集後記
Author(s)	
Citation	メタフュシカ. 2006, 37, p. 132-132
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/12019
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

【編集後記】

『メタフュシカ』第37号（通算）をお届けいたします。日本の大学制度というマクロな次元で考えても、大阪大学文学部の哲学講座という身近な場として見ても、さまざまな変化が感じられるようになりました。哲学を大学の中で教育研究するとは、どのようなことなのか。思索を鍛錬し、表現を彫琢する努力は今まで以上に欠かせないとして、論文を書き、それを発表することの意味合いは、しっかり見定めていく必要があると思います。本誌がどのようなメディアとして存在し、発展すべきなのか、読者の皆さまのご意見をお寄せいただければ幸いです。

（中岡成文）

【編集委員会】

『メタフュシカ』第37号編集委員
委員長 中岡成文（臨床哲学・教授）
須藤訓任（現代思想文化学・教授）
舟場保之（哲学哲学史・助教授）

メタフュシカ 第37号

2006年12月20日 印刷

2006年12月25日 発行

編集兼発行者

大阪大学大学院文学研究科哲学講座

〒560-8532 豊中市待兼山町1-5

印刷所

株式会社 ケーエスアイ

〒557-0063 大阪市西成区南津守7-15-16